

2021年7月28日(水)

① 株式市場の「天安門事件」 藤野英人氏(ひふみ投信)

香港ハンセン指数は大幅続落 25086 ポイント ▲1105 ポイント(▲4.22%)

アリババも約 3%下落

藤野さんとは早稲田大学オープンカレッジの私の講座にゲストスピーカーとしてお越しいただいたりして、以前からお付き合いがあるのですが、まさに今回の中国の対応は「天安門事件」級だと思います。

米国株式市場は、今回の中国の対応をまだずいぶん過小評価しているのではないのでしょうか。

中国当局は、以前から IT 大手を徹底的にたたこうとしているように思われます。

今回、教育費の高騰を強引な手段を使って規制しましたが、今後は不動産の高騰にも大変厳しい規制を加えるのではないのでしょうか。

中国は日本以上に「不動産資本主義」国家です。

不動産規制が強化され、マンション価格が下落し始めますと、マンション価格上昇によって成り立っていた個人消費が一気に低迷すると思います。

現在の中国は、まさに日本の 1990 年のような状況にあるのではないのでしょうか。

日本のバブル崩壊は世界にそれほど影響を与えませんでした。

しかし現在の中国でマンションバブル崩壊が起こった場合、その影響は 30 年前とは比べ物にならないインパクトがあると思います。

年初に「コロナ感染拡大が今年の最重要ポイントではない」とお伝えいたしましたが、どうやら GDP 約 1600 兆円、人口約 14 億人の中国マンションバブル崩壊が本年後半の最大のポイントになりそうです。

最大級の注意をしていただければと思います。

【香港ハンセン指数:3年】



【アリババ:3年】

ALIBABA GROUP HOLDING ADR (BABA)

ポートフォリオへ

取扱市場 / NYSE

株価 | チャート

現在値 / 186.07 -5.69 (-2.97%)

株価

1日 | 2日 | 3日 | 5日 | 10日 | 1ヶ月 | 2ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 2年 | 3年 | 5年 | 10年

週足

21/07/27 16:10 E

